

未来のために持つべき視点

SDGs(Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標))

持続可能な開発目標 (SDGs) とは、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2016年から2030年までの国際目標。

持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の誰一人として取り残さない (leave no one behind) ことを誓っている。



100年先の未来を見据えた鳥飼のまちづくりを考えていくことは、鳥飼地域の存続のために様々な取組を進めていくが、「鳥飼らしさ」は維持させるといふもの。

これは、SDGsと志を同じくするものであり、グランドデザインではこの視点を持ち合わせる必要がある。

鳥飼まちづくりグランドデザインでは、将来のまちの姿を見据えた上で、長期的な視点からのまちづくりの方向性を定め、その方向性に沿った中期、短期に取り組むべき具体的な取組を検討するものとしているが、100年先はもちろんのこと、10年先の世の中ですら、正確に予測することは困難。

しかし、現在の急速な情報技術の進歩、働き方改革など社会的潮流の変化から、人々の生活が大きく変わっていくことは想定される。

社会潮流

- Society5.0
- 脱炭素社会
- 技術革新
- 英語の共有語化
- UAV (ドローン) ・VR ・AR
- 働き方改革
- 新型コロナウイルス感染症の影響による新しい日常への移行 等

将来は・・・?

- 会社に行かなくても仕事ができる
- 買物はネットですべて完結
→国境を超えた活動が活発化

- 公共交通機関も自動運転
- 空飛ぶ自動車の普及

⇒通勤や買い物等の負担が軽減され、ゆとりある居住環境へのニーズが高まることが期待

長期的な将来イメージ

鳥飼地域の自然や風景を活かしながら・・・

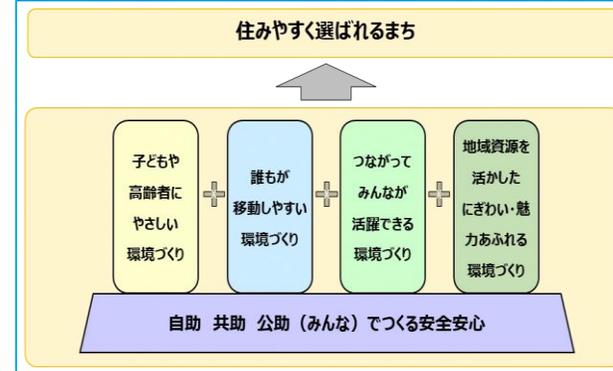
- 自然災害や犯罪・事故から住民の命を守る「安全安心のまち」が形成されている。
- 自宅の最低敷地面積が拡大し、ゆとりある居住環境を形成。併せて、狭隘道路が解消し、自動車等の交通の円滑化が図れている。
- 淀川や水路・水田を活かした地域住民はもとより来訪者にとっても憩いの場となる空間が創出されている。
- 新しい店や企業が開業しており来訪者が増え、様々なイベントも開催されている。
- 企業と住民が結びつき、自らが主体となってまちづくりが活発化している。
- 歩きたくなる空間が整備されており、子どもからお年寄りまで元気に活動している。
- 良好な交通ネットワークが形成されている。
- 子どもの社会性や英語力が他地域より優れている。

100年先の鳥飼地域のまちづくり

鳥飼まちづくりの基本方針

鳥飼まちづくりの基本方針 (案) のもと、SDGsの視点を持ち合わせながら各分野における取組を推進

鳥飼まちづくりの基本方針 (案)



まちづくりの方向性 (案)

- 1 自助 共助 公助 (みんな) でつくる安全安心
- 2 子どもや高齢者にやさしい環境づくり
- 3 誰もが移動しやすい環境づくり
- 4 つながってみんなが活躍できる環境づくり
- 5 地域資源を活かしたにぎわい・魅力あふれる環境づくり

そのために・・・

防災対策

- 高台まちづくりの推進 (例 河川防災ステーションの整備促進、とりかいこども園の高台化検討など)
- 避難計画 (体制) づくり (例 SOS避難メソッド、災害時の鳥飼仁和寺大橋の活用など)
- 地域防災力の向上 (例 企業防災の推進、自主防災組織の育成など)

少子化への対応 (子育て・教育)

- 教育・子育て環境の充実 (例 子育て支援施設の拡充、子どもの居場所づくりなど)
- 少子化に対応した学校づくり、学校規模の適正化 (例 義務教育学校など)
- 学校等、教育施設を活用した地域づくり (例 コミュニティ施設との複合化など)

高齢化への対応 (福祉)

- 生きがいづくりや社会参加の支援 (例 居場所づくり、活動機会の確保など)
- 健康づくり・疾病予防の充実 (例 身近な検診会場等の確保など)
- 地域包括ケアシステムの充実 (例 福祉の総合相談体制の構築、移動支援など)

道路交通 (基盤整備)

- 住民の自動車利用の充実 (例 幹線道路と生活道路の分離、渋滞解消など)
- 歩行空間や自転車利用空間の確保
- 狭隘道路の解消 (例 避難経路の確保など)
- 公共交通の充実

コミュニティ・にぎわいづくり

- 既存資源の活用 (例 新幹線公園、銘木団地、公園を活用した地域ごとの小さな拠点整備など)
- 公共施設の再配置による新たな価値の創出 (例 公共施設の複合化、居場所づくりなど)
- 南摂津駅を中心としたにぎわいづくり (例 ウォーカブルな空間、プレイスメイキングなど)
- 河川防災ステーションの平時利用や淀川河川敷等の一体的な活用
- 農業を活用したにぎわいの創出 (例 体験型農園、地産地消の拠点など)
- 水路を活かした憩いとにぎわいの創出